

令和2年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

団体名：NPO 法人まちなびや

調査目的

本調査は、令和2年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価…1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業 成果 ・ 波及 効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。	1
		(評価理由)：草薙商店街でのおしごと図鑑づくりや地元住民参加のコドモンデ作成、小中学生を通じた配布により、草薙の魅力を発信できた。	
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1
		(評価理由)：草薙カルテッドの皆様と密に関わることができた。	
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。	1
		(評価理由)：まちなびやで進めているコドモンデやおしごと図鑑を作成できた。	
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。	2
		(評価理由)：ほぼ予定どおりだったが、商店街店舗でのポスター掲示は予定より縮小した形となった。	
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。	1
		(評価理由)：コロナ対応費がかかったが、予算内で対応できた。	
6	実施した事業は今後、本格実施(継続実施)への発展性が見込まれますか。	4	
	(評価理由)：ポスター掲示に商店街は消極的だった。		

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果
これまで面識のなかった私立小学校をご紹介いただき、円滑な情報提供ができた。そのことで、事業の参加者につながった。広報にご協力いただき、取組を広く市内に発信いただけた。

協働して事業を行う上での課題
コロナ対応が大変悩ましく、事業実施の判断を誰がいつどのように決定するか迷った。事前に関係者で決め方を確認しておけるよう、可否決定の判断基準についてガイドラインがあるとありがたいと思いました。

問3 令和2年度静岡市協働パイロット事業で実施した事業について、令和3年度以降も継続して事業を実施する予定はありますか。

- ① 現在実施している
- ② 今年度実施する予定である
- ③ 今年度は実施しないが、来年度以降実施する予定である
- ④ 実施する予定はない

問4 問3で①、②、③と回答した方にお聞きします。貴団体が実施している、又は予定している事業の内容について、簡潔にお書きください。

--

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ・提出先 静岡市 市民局 市民自治推進課
担当：青山、大石
〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1
TEL：054-221-1372 FAX：054-221-1538
メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

令和2年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

担当課名： 清水駅周辺整備課

調査目的

本調査は、令和2年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価…1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業 成果 ・ 波及 効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。	1
		(評価理由)：感染予防対策を徹底し、市内小学生16人が現地取材に参加できた。	
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1
		(評価理由)：草薙カレッジ [®] に対し、「劇場型集合写真」を撮る機会を提供できた。	
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。	1
		(評価理由)：草薙カレッジ [®] や草薙商店街と連携し、草薙の認知度向上に成功した。	
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。	1
		(評価理由)：まちのお仕事図鑑を市内小中学校へ合計22,000部配布できた。	
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。	1
		(評価理由)：予算の範囲内で、予定した事業を執行できた。	
	6	実施した事業は今後、本格実施(継続実施)への発展性が見込まれますか。	2
		(評価理由)：草薙をモデルケースに他の商店街等への発展の可能性はある。	

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果
<ul style="list-style-type: none">・市民活動団体が独自に持つネットワークを活用し、多くの人に関わる幅広い連携のもと事業が実現できた。・より市民に近い団体のみなさんが、きめ細かい地元調整（事業の説明等）を行うため、地元からの理解が向上し、円滑に事業が推進できた。・子どもの視点や市民視線を重視した冊子（まちのお仕事図鑑）が完成
協働して事業を行う上での課題
<ul style="list-style-type: none">・予算額と業務量の適切なバランス（過剰な業務量とならないよう注意）・市が表に出過ぎない形でのバックアップ体制の構築（役割の明確化）

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ 市民自治推進課 市民協働促進係

メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

担当者：青山、大石（内線：81-2283）